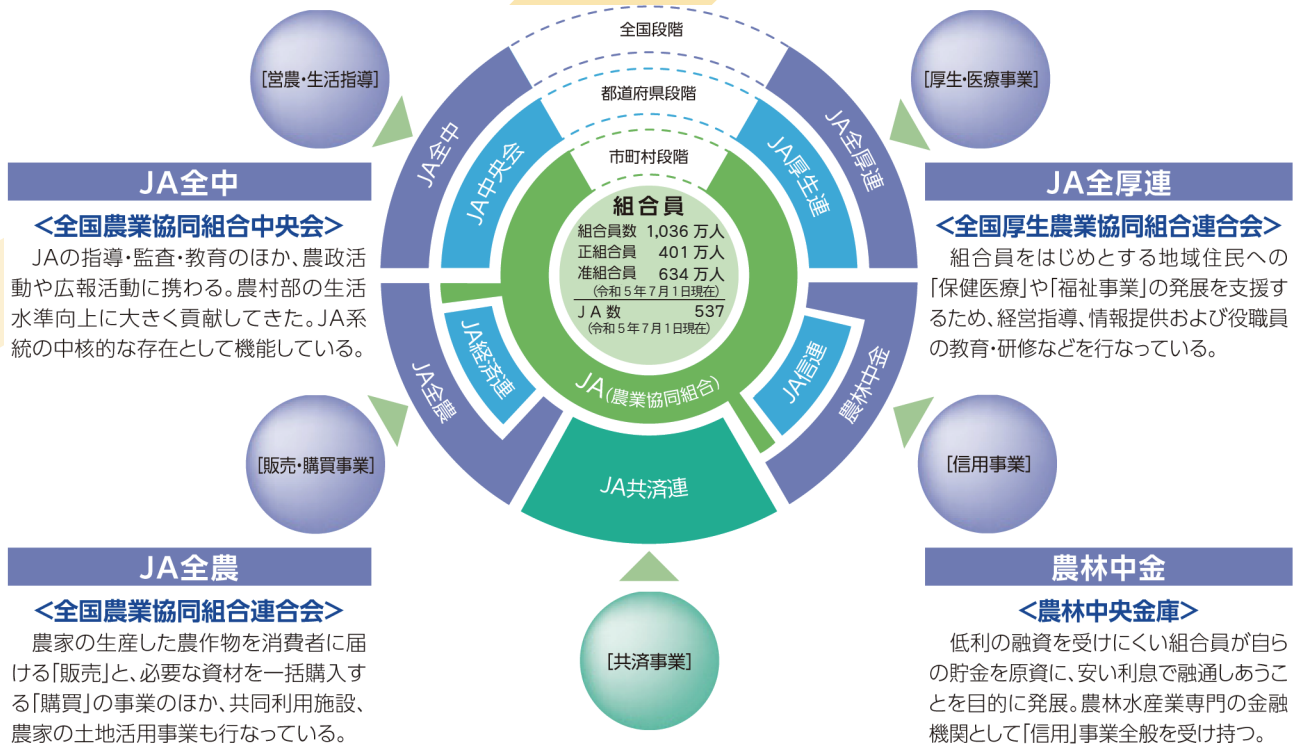


JAグループの概要

JA（農業協同組合）は、「人の和」から生まれる助け合いの気持ちを第一に、地域づくりの一員として活動しています。事業内容は、「営農・生活指導」「共済」「経済（販売・購買）」「信用」「厚生・医療」の5つに分けられ、これらが一体となって地域づくりに貢献しています。そのなかであって、JA共済は、保障の提供を中心とした活動を通じて組合員・利用者の皆さまの生活を守り支える事業を行なっています。



JAマークの大きな三角形は「自然」「大地」、小さな三角形は「人間」を表しています。左端の円は「農業の豊かさ」「実り」、さらには協同の精神にもとづく「人の和」を象徴しています。



JA全中
<全国農業協同組合中央会>
JAの指導・監査・教育のほか、農政活動や広報活動に携わる。農村部の生活水準向上に大きく貢献してきた。JA系統の中核的な存在として機能している。

JA全農
<全国農業協同組合連合会>
農家の生産した農作物を消費者に届ける「販売」と、必要な資材を一括購入する「購買」の事業のほか、共同利用施設、農家の土地活用事業も行なっている。

JA共済連
<全国共済農業協同組合連合会>
相互扶助（助け合い）の事業理念にもとづき、暮らしのすべてにわたる保障を行なう「JA共済」。その仕組み開発、資産運用などを行なう。

主要な業務の内容

- 1 共済契約の引き受け
- 2 財産運用
- 3 自動車損害賠償保障法第77条第1項の規定にもとづく政府からの業務の受託
- 4 共栄火災海上保険株式会社の業務の代理または事務の代行

JA全厚連
<全国厚生農業協同組合連合会>
組合員をはじめとする地域住民への「保健医療」や「福祉事業」の発展を支援するため、経営指導、情報提供および役職員の教育・研修などを行なっている。

農林中金
<農林中央金庫>
低利の融資を受けにくい組合員が自らの貯金を原資に、安い利息で融通しあうことを目的に発展。農林水産業専門の金融機関として「信用」事業全般を受け持つ。